

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度	ふるさと館H10.12-、農園H9.12-、つり堀H5.3-、紅葉会館H7.7-		
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	01 豊かな食を支えるまちづくり
	小項目	施策	01 農業（農業振興地域以外の整備）
	事務事業名	10 山村地域活性化施設管理事業	
根拠法令・例規等		各施設設置条例、設置条例施行規則	
問 担当課（室）		吉永総合支所 窓口管理課	
合 職・氏名		参事 山田 邦男	
先 電話		0869-84-2513	
このシート作成に要した時間		5.0 時間	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象（誰・何に対して）	観光客、神根地区民外
目的（何のために）	施設の適正な管理と効率の良い運営及び出先機関としての機能維持
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	施設の適正な管理により観光客、利用者の増加が期待できる

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
南方つり堀公園管理運営事業	観光客と市民のふれあいを深め、地域住民の就労機会の増大を図ることを目的として設置された南方つり堀公園の管理運営	
八塔寺ふるさと農園管理運営事業	豊かな自然に恵まれた地域資源を活用し、都市住民と農村住民の交流と共生を図るとともに、農業農村振興と活性化に寄与することを目的として設置された八塔寺ふるさと農園の管理運営	
紅葉会館管理運営事業	中山間地域の農業等振興と住民福祉を向上させ、地域の活性化を図る。また、地区公民館として、生涯学習の中核として、様々な学習の機会や活動の場を提供するとともに、自発的な活動を奨励し、地域社会の形成や文化の振興を図ることを目的に設置した紅葉会館の管理運営	
神根生活改善センター管理運営事業	山村地域住民の生活の合理化、近代化並びに教養の向上及び福祉増進等の総合的かつ拠点的な管理運営	
特産品処理加工施設管理運営事業	地域住民の地場産業の発展と雇用機会の創出を図ることを目的として設置された三国特産加工施設の管理運営	
八塔寺森林浴公園管理運営事業	自然環境にある森林を保護するとともに、森林の観察及び探求を通じて市民の自然への理解及び自然とのふれあいを深め、もって市民の福祉の増進を図る	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費		7,814	7,763	7,691
	必要人員	人	1.30人	1.31人	1.13人
	必要人件費	千円	5,153	5,240	3,696
	事業費		12,967	13,003	11,387
	国県支出金				
	受益者負担				
財源	千円				
繰入金					
その他（）		49	96	41	
一般財源		12,918	12,907	11,346	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
管理運営業務委託件数	説明	南方つり堀公園、八塔寺ふるさと農園、紅葉会館の業務委託件数	3	3	3
対前年	比率	%	100.0%	100.0%	100.0%
活動コスト	円		12,967,000	13,003,000	11,387,000
単位当たりコスト	円		4,322,333	4,334,333	3,795,667

（平成22年度事業）

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
直接事業費（ふるさと農園、つり堀、紅葉会館）	目標値（A）	7,315	7,423	7,374	前年度実績の5%減
	実績値（B）	7,814	7,763	7,691	到達目標値
	達成率（B/A）	106.82%	104.58%	104.30%	毎年
成果指標設定の考え方・式や説明					
対前年度の直接人件費の比較					

事務事業の評価		5段階評価（A～E）のランク基準 A：高い B：やや高い C：普通 D：やや低い E：低い	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法（派遣・委託）を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> C
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A-E> C	

事業の目的やその留意点がある成果指標を評価

進行年度（H23年度）の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	今後も観光施設維持管理委託により、施設の維持管理を適切に行うことにより、観光客が快適、安全に施設を利用することが出来る。					

総合評価		5段階評価（A～E）のランク基準 A：高い B：やや高い C：普通 D：やや低い E：低い
評価区分 <A-E>	B	
休止中であった施設（八塔寺ふるさと館、望ヶ丘）が平成21年度から営業を再開した。各施設の相乗効果により観光客の集客の増加が見込める。市と管理者が相互に協力し、経費削減、営業努力により、今まで以上に快適、安全な施設の管理運営に努める。茅葺等施設の老朽化も進んでいるため、今後、計画的な修繕の必要がある。		

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	経費削減も今まで以上に努め、観光客のニーズに合った安全、快適な施設の運営管理に心がける。					